

# いわて 復興 だより

がんばろう!岩手 つなごろう!岩手  
第178号  
令和3年10月号



## 三陸復興

平成23年3月11日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切に、復興のステージを更に前に進めていく岩手県の今を紹介します。

開催

### 県政懇談会「いわて幸せ作戦会議」開催

岩手全域  
ALL IWATE

令和3年10月19日(火)、「東日本大震災津波の教訓の伝承と復興の姿の発信」を懇談テーマに、県政懇談会「いわて幸せ作戦会議」が、県庁と沿岸3地区をオンラインで繋ぎ、開催されました。

出席した宮古観光文化交流協会(宮古市)で「田老の学ぶ防災」ガイドを務める元田久美子さんは、田老の被災状況や復興の様子を一望できるよう、訪れた方々を防潮堤に案内し、町全体を震災復興の博物館に見立てて学ぶ防災ガイド活動について紹介しました。

いのちをつなぐ未来館(釜石市)のガイドを務める川崎杏樹さんからは、子ども達が防災を自分事として捉えるための工夫や、震災後に生まれた子どもへの伝承活動の重要性が述べられました。

マルゴト陸前高田(陸前高田市)の齊藤美甫さんは、民泊を利用した修学旅行の受入れや新たに始めた高田松原津波復興祈念公園のパークガイドの活動について紹介があり、被災状況だけでなく、これからの陸前高田を見てもらうことの大切さが述べられました。

SAVE IWATE 事務局長・もりおか復興支援セン

ター(盛岡市)のセンター長の金野万里さんからは、「3.11 祈りの灯火」活動を通じて、県内外の多くの企業・団体と共に被災地への追悼・鎮魂、支援への感謝を伝えることや、盛岡市内の災害公営住宅で被災者一人ひとりへの支援と地域支援の両輪で取り組んでいる日頃の活動について紹介がありました。

知事からは、「震災から10年が経ち、伝承・発信活動力を入れていくためにも、伝承施設のネットワークや地域を越えた連携・協力が大切」とコメントがあり、県では頂いた御意見を参考に、引き続き東日本大震災津波の教訓の伝承と復興の姿の発信に取り組んでまいります。



参加者の皆様

■問い合わせ

岩手県復興防災部復興推進課 ☎ 019-629-6945

## 世界へ、未来へ いわてTSUNAMIメモリアル

2周年&amp;来館者数40万人突破!

東日本大震災津波の事実と教訓を伝える施設「東日本大震災津波伝承館」(いわてTSUNAMI(つなみ)メモリアル)を紹介します。

東日本大震災津波伝承館は、令和元年9月22日の開館以来ほぼ2年となる、令和3年9月21日に来館者数が40万人を超えました。国内外から多くの方々に来館いただき、感謝申し上げます。

また、令和3年9月25日(土)から10月24日(日)まで、企画展示「三大震災の事実と教訓～今から始める防災・減災～」を開催しました。

この企画展示では、関東大震災、阪神・淡路大震災と東日本大震災津波の概要と教訓から得られた事例などを紹介しました。日頃からの避難場所や避難経路の確認や3日分の飲食料の備蓄といった対策、自主防災組織による活動事例などの展示に、多くの方々が足を止め、真剣な表情で見つめていました。

東日本大震災津波伝承館では、今後も、東日本大震災津波に関する効果的な学びの場を提供し、防災・減災について考え、実践できるよう、常設展示のほか企画展示を開催していきます。

■問い合わせ 東日本大震災津波伝承館

☎ 0192-47-4455



企画展示を見つめる来館者の様子



学校による館内見学の様子

オープン

道の駅青の国ふだい  
オープン普代村  
FUDAI

道の駅青の国ふだい(写真提供:青の国ふだい)

令和3年9月25日(土)、普代村に「道の駅青の国ふだい」がオープンしました。

道の駅は、三陸鉄道普代駅に併設する村観光センターや駐車場などを改修して整備さ

れ、地元特産の昆布を練り込んだうどん等の物販施設ほか、コインランドリー、食堂、喫茶店など地域に密着した店舗も並びます。

道の駅を訪れた地元の方は、「人々のよりどころとなり、活気のある施設ができてうれしい」と笑顔を見せました。

今後は、観光客や三陸沿岸道路等を利用する方など多くの方々の利用が期待されます。

■問い合わせ 青の国ふだい

☎ 0194-35-2411

公式ホームページはこちら➡



復活

## 浪板海岸復活

大槌町  
OTSUCHI

令和3年9月3日(金)、東日本大震災津波で砂浜が流出し、令和元年7月から行われていた大槌町浪板海岸の砂浜再生工事が完了しました。

震災前の浪板海岸は、返す波のない片寄の海岸で、青い海と白い砂浜は、地元の海水浴場として、また、県内有数のサーフィンの聖地として、週末には多くの方々が賑わっていました。

砂浜の復活に、地元のサーファーは、「波の状況は昔より良く、砂浜が復活したことで子どもや初心者の方もサーフィンを楽しめるようになった」と復活を歓迎しました。

今後は、サーフショップやカフェが並ぶ浪板海岸ヴィレッジや周囲の宿泊施設とともに、復活した浪板海岸を中心に更なる地域の賑わいが期待されます。

■問い合わせ 岩手県沿岸広域振興局水産部

☎ 0193-25-2706



復活した浪板海岸

開催

## 三陸花火競技大会開催

陸前高田市  
RIKUZENTAKATA

令和3年10月9日(土)、陸前高田市で、三陸花火競技大会が、昨年に引き続き開催されました。

この花火大会は、三陸沿岸の観光振興や交流人口の拡大を図るため、陸前高田市内外の民間有志で構成する三陸花火競技大会実行委員会(浅間勝洋実行委員長)が開催したもので、クラウドファンディング等を活用しながら、コロナ禍の中で様々な工夫を凝らして開催されました。

当日は、音楽と花火が競演するミュージックスターメインや100発以上の尺玉が打ち上げられる花火エンターテイメントショーに加え、全国23社が花火の腕を競い合う花火競技、いわての郷土芸能団体によるパフォーマンス、三陸の様々な特産品の出店があり、県内外から約1万2千人の方が現地を訪れました。

当日の様子はネットでも配信され、来場した方をはじめとした多くの方々が、震災津波からの復興に思いを寄せ、被災地の夜空を彩る花火に酔いしれました。

■問い合わせ

三陸花火競技大会実行委員会

☎ 050-5526-3851



三陸の海と夜空を彩る花火の様子(写真提供:三陸花火競技大会実行委員会)

オープン

## バスケットボールコート 「HANAMICHI PARK(花道パーク)」 オープン

大槌町  
OTSUCHI

令和3年9月25日(土)、大槌町に、3人制バスケットボールの屋外コート「HANAMICHI PARK(花道パーク)」がオープンしました。

このバスケットコートは、震災後、大槌町を訪れた広島県のボランティアの方が、大槌町桜木町の地名と有名なバスケット漫画の主人公の名前に着想を得て、地元の社会人バスケットボールチームのメンバーと協力し、クラウドファンディング等を活用して大槌町役場旧庁舎跡地に整備したものです。

誰でも無料で利用できる新しいコートを訪れた方々は、笑顔でプレーを楽しみ、汗を流しました。バスケットボールを通じた復興の後押しと町おこしが期待されます。

■問い合わせ 花道プロジェクト

✉ info@hanamichi.info

プロジェクトホームページはこちら➔



プレーを楽しむ方々(写真提供:花道プロジェクト)

開始

## 津波に耐えた「気仙丸」、 陸上展示開始

大船渡市  
OFUNATO

陸上展示された気仙丸(写真提供:大船渡商工会議所)

令和3年10月4日(月)、大船渡市の中心地で、木造千石船の復元船「気仙丸」がお披露目されました。

気仙丸は、全長18.7メートル、帆柱17メートル、重さ23トンの帆船で、平成3年12月に、江戸時代の海運に使われた「千石船」を、大船渡を中心とした気仙大工が地元のスギやヒノキなどで復元したものです。震災津波時には、大きな損壊を免れた「奇跡の船」としても知られています。長年の海上展示により船体の腐食が進んだため、陸上展示することとなり、雨による腐食を防ぐため表面を液体ガラスで塗装し、大船渡市の中心地に移設されました。

この船は、ドラマや映画などでも使用されており、陸上展示を通じて地域の歴史・文化の伝承や観光の目玉としての活用が期待されます。

■問い合わせ 大船渡商工会議所

☎ 0192-26-2141



## いわて応援プロジェクト情報

### いわて旅応援プロジェクト(第2弾) 実施中

岩手全域  
ALL IWATE

岩手県では、岩手県居住者限定で、宿泊・旅行代金の割引や土産物店等で利用できるクーポン券の発行を行う「いわて旅応援プロジェクト(第2弾)」を令和3年10月1日(金)から実施しています。泊まって、買って、地元を応援しましょう!



#### プロジェクト実施期間

令和3年10月1日(金)から令和3年12月31日(金) 宿泊分まで(宿泊施設や旅行会社によって割引日や割引プランが異なりますので、事前に必ず予約先に確認してください。)

#### 割引詳細

支払金額が 4,001 円～ 5,999 円の時 2,000 円割引  
支払金額が 6,000 円～ 7,999 円の時 3,000 円割引  
支払金額が 8,000 円～ 9,999 円の時 4,000 円割引  
支払金額が 10,000 円以上の時 5,000 円割引(上限)

#### クーポン券詳細

宿泊の場合はお一人様 1泊あたり、日帰り旅行の場合はお一人様につき、2,000円分

#### クーポン利用期間

発行日から10日間(令和3年12月23日(木)以降発行のものは令和4年1月1日(土)まで)

#### ●問い合わせ

いわて旅応援プロジェクト  
いわて応援クーポン事務局 ☎ 019-623-1145



### Go To Eat キャンペーン第2弾 いわての食応援プロジェクト 実施中

岩手全域  
ALL IWATE

岩手県では、「いわて飲食店安心認証制度」の認証を受けた飲食店で利用できるプレミアム付き食事券を発行しています。食事券を利用して感染対策に取り組む飲食店と食材を提供する農林漁業者を応援しましょう!

#### 食事券名称

いわての食応援チケット

#### 販売価格

1冊5,000円(500円×10枚)の食事券を4,000円で販売

#### 発行冊数

約23万冊

#### 販売期間

11月15日(月)まで(売り切れ次第終了)

#### 利用期間

12月15日(水)まで

#### ●問い合わせ

いわての食応援プロジェクト事務局  
☎019-624-5050





明治三陸津波(明治29年)と昭和三陸津波(昭和8年)により壊滅的な被害を受けた宮古市田老地区(旧田老町)では、防潮堤の整備が昭和三陸津波の翌年(昭和9年)から始まり昭和54年に完了しました。

町全体を囲む総延長2,433メートル、高さ10メートルの長大な防潮堤はかつて「万里の長城」と呼ばれていました。

東日本大震災津波では、大津波がこの高さ10メートルの防潮堤を超え、甚大な被害を及ぼしました。

現在、全壊を免れた第二線堤は地盤沈下分を高上げして復旧され、倒壊した防潮堤にかわる第一線堤は令和3年3月に整備が完了しました。また、現地では、「学ぶ防災ガイド」により田老地区の現状や震災当時の状況を知ることができます。

**場所** 岩手県宮古市田老字川向 地内

■防潮堤に関する問い合わせ

岩手県沿岸広域振興局 水産部宮古振興センター ☎ 0193-64-2216

土木部宮古土木センター ☎ 0193-65-0031

■田老の学ぶ防災ガイドに関する問い合わせ

宮古観光文化交流協会 学ぶ防災ガイド ☎ 0193-77-3305



防潮堤近影

## 田老の防潮堤

震災津波の脅威を後世に伝え、災害時の防災に貢献します。



三陸Juhopu  
Sanriku Juhopu

田老の学ぶガイドについては  
こちらから➡



# いわてさんりくびと

連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介しします。第124回は佐伯悠さんをご紹介します



～ Enjoy Rugby!! ～

### PROFILE

神奈川出身。小学5年からラグビーを始める。関東学院大学に進学しラグビー部で活躍。全国大会で優勝2回、準優勝を2回経験。卒業後、釜石シーウェイブスに加入。平成23年には主将、平成26年には選手会長を務めた。令和3年7月より釜石ラグビー人財育成専門員としてラグビー振興に励む。

### ラグビーができるありがたさ

佐伯悠さんは大学卒業後の平成19年、釜石シーウェイブスに加入しました。きっかけは当時のヘッドコーチのひと言でした。

『一緒にトップリーグを目指してほしい。釜石のようなクラブチームが昇格したら、日本のラグビー界がひっくり返る』と言われて、ワクワクしたんです。大学時代から釜石には練習合宿などで訪れていましたし、挑戦を決めました」と振り返ります。

東日本大震災津波の時には、釜石の街が津波に飲まれていくのを目にして、ラグビーができなくなることも覚悟したといえます。しかし、選手たちはすぐに立ち上がりました。

「震災発生3日目から物資運びなどを手伝いました。4月にはチームの活動再開が決まったのですが、ラ

グビーができるのは当たり前ではないのだと実感しました」と佐伯さんは言います。

### 釜石から、花園を目指す

チームを退団後、勤務先の異動もあり、令和2年9月に佐伯さんは釜石を離れましたが、ジュニアから高校生に幅広く指導し、釜石のラグビーに貢献したいという選手時代の思いから、令和3年6月に釜石ラグビー人財専門員に応募し、7月から専門員として活動が始まりました。

「釜石市内のラグビーに関すること全般を担当しています。一番の目標は、『釜石市の高校生が、ラグビーの聖地、花園に行くこと』です。まずはラグビー人口を増やすことに力を入れています。子どもたちにラグビーの楽しさを伝えていきたいです」と佐伯さんは力を込めます。

### 岩手県の被害状況

令和3年9月30日現在

- 人的被害 死者：5,145人(余震、震災関連死を含む)  
行方不明者：1,111人
- 建物被害(住家のみ、全半壊)26,079棟  
被害状況等の詳細/義援金・寄附金の募集等

いわて防災情報ポータル

検索

### 皆様のご支援、ありがとうございます

令和3年9月30日現在

- 義援金受付状況 約188億633万円(98,286件)
  - 寄附金受付状況 約202億6,086万円(11,421件)
  - いわての学び希望基金(\*)受付状況 約103億8,452万円(25,907件)
- \*被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



## いわて震災津波アーカイブ～希望～

約24万点の資料を検索・閲覧できます。

いわて震災津波アーカイブ

検索



いわて復興だより 第178号

令和3年10月29日発行 企画・発行/岩手県復興防災部復興推進課 ☎019-629-6945 編集・印刷/永代印刷株式会社